

英語でコミュニケーションを図る 体験活動の充実に取り組みます。

現在、国内外の様々な分野でグローバル化が進展している中、これから社会で活躍する子供たち一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要となっています。

国際共通語である英語力の向上は、府中の子供たちの将来にとって不可欠であり、英語教育において、基礎的・基本的な知識・技能と、それらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成することは、児童・生徒の将来的な可能性の広がりのために欠かせないものです。

府中市教育委員会では、これまでも、全ての学校でALTとのチーム・ティーチングに取り組み、中学校からは少人数・習熟度別指導にも取り組んできました。こうした取組に加えて令和5年度からは、英語によるコミュニケーションを楽しむことなどが実現できる機会の創出をねらいとして、様々な英語による体験活動に取り組み、英語教育の充実を図ってまいります。

1 なぜ、英語の体験が必要なのか。

「外国語活動」(小学校中学年)においては、音声面を中心としたコミュニケーションの体験を通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみます。また、「外国語科(英語)」(小学校高学年～中学校)の授業では、「聞くこと」「話すこと」に加えて、「読むこと」「書くこと」の4技能を扱いながら、発達の段階に応じて、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成を目指しています。

英語の学習では、これらの技能を活用して実際のコミュニケーションを行う言語活動を重視しており、小・中学校を通じて、授業で発音・語彙・文法等の間違いを恐れず、積極的に英語を使おうとする態度を育成すること、英語を用いてコミュニケーションを図る体験を積むことが求められています。



2 英語を楽しく学ぶためにどのような工夫をしているのか。

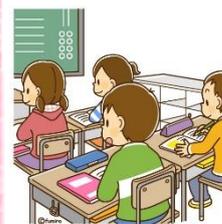


<ALT(Assistant Language Teacher)の配置>

全ての学校にALTを配置し、外国語担当教員のアシスタントとして、チーム・ティーチングを実施しています。英語による言語活動の充実や、児童・生徒一人一人の発話量を確保するとともに、休み時間などの授業以外の場面でも子供たちと関わることで、児童・生徒に生きた英語を提供し、英語によるコミュニケーションの充実に取り組んでいます。

<少人数・習熟度別指導の実施>

生徒のコミュニケーションを図る資質・能力をより一層効果的に育み、生徒のもつ可能性を最大限に広げるために、全ての中学校の英語の指導において、少人数・習熟度別指導を実施しています。少人数の指導により、「やり取り」・「即興性」を意識した言語活動に取り組み、生徒一人一人の十分な学習活動を確保するとともに、個に応じた指導の充実に取り組んでいます。



<デジタル教科書の活用>

小学校5年生以上には、英語のデジタル教科書が導入されています。デジタル教科書を活用することで、ネイティブ・スピーカー等が話す音声を何度も聞くことや、音声を聞く際に文が色付けされて表示されるため、視覚的に確認しながら音読ができるため、効果的に語彙や表現を学習することができます。

3 令和5年度から始まる新しい取組は何ですか。

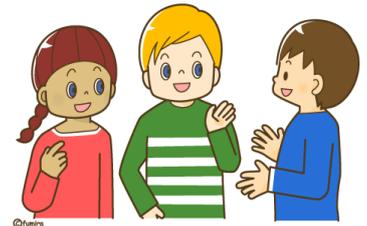
令和5年度からは、子供たちに主体的に学び続ける態度と、総合的な英語力を育成するため、全ての学校において、新たに「世界とつながる英語エンジョイウィーク」と、東京都が立川に開設した「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS」（以下「TGG」という）を活用した英語の体験活動に取り組みます。

▶ 世界とつながる英語 Enjoy Week

児童・生徒の実態や、地域の特色等を踏まえ、目的、状況、場面等に応じて主体的に英語でコミュニケーションを図ることができる資質・能力を育むために、小学校第3学年から中学校第3学年までの児童・生徒を対象に、1週間を単位として英語でコミュニケーションを図る体験活動を実施します。

<活動例>

- ALT の派遣期間を活用し、休み時間、クラブ・委員会活動、部活動等の時間にALTと交流する活動
- 外国語科の授業の単元のまとめとして、留学生や ALT 等に府中市を紹介する活動
- 留学生等を学校に招き、校内を案内したり一緒にレクリエーションしたりする活動
- オンラインを活用して海外の小・中学生と交流する活動
- 留学生等に地域を案内し、地域の魅力を英語で伝える活動



▶ TGG (体験型英語学習施設) を活用した英語体験活動

TGG は、日本にいながら海外の雰囲気を感じさせる空間の中で、子供たちの英語力に応じたサポートを受けながら、英語を体験し学ぶことができる施設です。小学校第5学年及び中学校第1学年を対象に、英語でコミュニケーションを図る体験活動を通じて、英語が「分かった」「通じた」という成功体験を得ることや、国際交流の楽しさや必要性を実感し、「もっと英語を学びたい」という意欲を高めることを目的に実施します。



<TGG の英語体験活動では>

- 児童・生徒 8 人に対し、世界各国から来日した英語講師(イングリッシュスピーカー)一人がサポートします。
 - 外国を模した擬似空間で日常英会話にチャレンジするプログラムや、様々なテーマについて英語で学ぶプログラムなど、語学の習得レベルに応じた特色あるプログラムを体験することができます。
- ※ 利用料については、公費で負担します。

4 府中市では、他にどんな取組がありますか。

令和4年度は、児童・生徒が英語を使ってコミュニケーションを図る体験活動を通して、英語を使用する楽しさや必要性を体感し、学校における英語学習への意欲を一層高めることを目的に、夏休み中に、多くの外国の方とともに英語で世界各国の文化や生活習慣を学ぶ「わくわく英語体験ツアー」を市教育委員会が主催で実施しました。

令和5年度も、夏休み中に、児童・生徒が英語を使ってコミュニケーションを図る魅力的な企画を実施する予定です。

